

学校法人恵泉女学園 事業報告・事業計画

■ 2008年度事業報告書

1 法人の概要

- (1) 建学の理念
- (2) 学校法人の沿革
- (3) 設置する学校・学部・学科
- (4) 学生数・生徒数
- (5) 役員の概要
- (6) 教職員数

2 事業の概要

- (1) 主な事業の概要
- (2) 設置校の主な事業の目的・計画と進捗状況
- (3) 施設設備の処分

3 財務の概要

- (1) 決算の概要
 - ① 収支計算書の状況
 - ② 貸借対照表の状況
- (2) 経年比較
 - ① 収支計算書
 - ② 貸借対照表
- (3) 収益事業の状況

4 財産目録（概要）

5 監事による監査報告書

■ 2009年度事業計画

I 基本方針

II 重点事業

■ 2009年度予算

- 1 予算の概要
- 2 資金収支予算書
- 3 消費収支予算書

■ 2008年度事業報告書

I 法人の概要

(1) 建学の理念

恵泉女学園は1929年河井道によって創立された。河井道の教育理念は、第1にキリスト教精神に基づいて自立した女性を育てること、第2に平和への使命を自覚し平和をつくり出す女性を育てること、第3に自然を愛し育み、美しい文化環境を創造する女性を育てることにあつた。これらは、中学・高校・大学において「聖書」「国際」「園芸」を柱とする教育に継承され、確立されている。

(2) 学校法人の沿革

1929年3月	恵泉女学園新設認可
1934年4月	普通部の上に2年制の高等部（文科・家事科）を開設
1934年9月	財団法人設立認可
1943年4月	高等部に園芸科を増設
1945年3月	恵泉女子農芸専門学校設置認可
1947年3月	恵泉女子農芸専門学校の名称を恵泉女学園専門学校と変更し、農芸科及び英文科設置
1947年4月	中学校発足
1948年4月	高等学校発足
1950年4月	短期大学（英文科、園芸科）開学
1951年3月	学校法人認可
1954年4月	恵泉園芸センター開設
1965年11月	短期大学園芸生活科、伊勢原へ移転
1986年10月	短期大学英文学科、多摩に移転
1988年4月	恵泉女学園大学人文学部（日本文化学科、英米文化学科）開学
1997年4月	大学平和文化研究所開所
1998年4月	大学人文学部国際社会文化学科開設
1999年3月	短期大学英文学科廃止
1999年4月	中学・高等学校の6年一貫教育を開始
2001年4月	大学人文学部人間環境学科及び大学院人文学研究科設置 短期大学の名称を園芸短期大学に変更
2003年4月	大学園芸文化研究所開所
2005年3月	園芸短期大学廃止
2005年4月	大学2学部5学科（人文学部：日本語日本文化学科、英語コミュニケーション学科、文化学科／人間社会学部：国際社会学科、人間環境学科）に再編
2006年6月	恵泉銀座センター開設
2007年2月	大学キリスト教文化研究所開所
2007年4月	大学院人間社会学研究科設置
2009年4月	大学院人間社会学研究科の科名を平和学研究科に変更

(3) 設置する学校・学部・学科

設置する学校 (所在地)	開校年月	学部・学科等	摘 要
恵泉女学園大学大学院 (多摩市南野 2-10-1)	2001年4月	人文学研究科、 人間社会学研究科	2009年4月平和 学研究科に科名変更
恵泉女学園大学 (同上)	1988年4月	人文学部、 人間社会学部	
恵泉女学園高等学校 (東京都世田谷区船橋 5-8-1)	1948年4月	全日制 (普通科)	
恵泉女学園中学校 (同上)	1947年4月		

(4) 学生数・生徒数

(2008年5月1日現在)

学 校 名		入学定員数	収容定員数	現員数
恵泉女学園大学	大学院	12名	24名	28名
	人文学部	205名	860名※	972名
	人間社会学部	205名	860名※	900名
恵泉女学園高等学校		180名	540名	565名
恵泉女学園中学校		180名	540名	595名

※ 3年次編入定員各40名を含む

(5) 役員の概要

(2008年5月1日現在)

① 役員 (理事15名、監事2名)

理事長 (非常勤) 一色義子

理事 (常勤) 松下俱子、木村利人、佐伯幸雄、徳久俊彦、松井弘子、
川戸れい子(非常勤) 大槻 邁、中村俣子、吉川俊子、十時英二、森田武夫、
荒井 献、森山倭文子、奥山裕子

監事 (非常勤) 松浦基之、高島正雄

② 評議員 35名

(6) 教職員数

(2008年5月1日現在)

(単位:人)

区 分		法人	大学	高等学校	中学校	収益事業	合計
教 員	本務	0	71	34	29	0	134
	兼務	0	134	32	24	0	190
職 員	本務	4	47	8	6	5	70
	兼務	8	23	4	5	9	49

2. 事業の概要

(1) 主な事業の概要

2008年度は恵泉女学園大学の開学20周年を迎え、2009年度には学園創立80周年を迎える節目の年度であることから、学園創立80周年事業の取組と、この事業のための募金を開始した。

2007年10月に大学の教育施設の充実と新たな教育展開を目指して大学隣地の都立南野高校跡地を29億円で取得したが、施設を利用可能とするための改修を行なった。

なお、取得にあたり借入れた15億円は伊勢原キャンパスの一部売却と自己資金により返済した。

(2) 設置校の主な事業の目的・計画と進捗状況

① 大学・大学院

開学20周年を迎え、新たな時代に向けての取り組みを強化し、園芸の総合的復興のための検討等を進めた。

2007年10月に取得した南野高校跡地を教育研究に活用するためキャンパス全体のランドデザインの検討を行い、内外装等の改修を行なった。

創立20周年事業として、記念式典の挙行、20周年記念誌を刊行した。

教育面では、文部科学省の「特色ある大学教育支援プログラム」に06年度に採択された「専門性をもった教養教育としての体験学習」と、07年度に採択された「教養教育としての生活園芸」についてそれぞれプログラムを推進し、特色ある恵泉教育を発展させることができた。さらに教育の一層の充実を図るためにファカルティ・ディベロップメント（FD）の取り組みを強化した。

大学院は09年度に人間社会学研究科を平和学研究科に改組することを決定し、人文学研究科とともに建学の理念の推進をはかることとした。

学生の確保では、創立の理念を前面に出した積極的な広報・募集体制によって定員を上回る入学者を確保した。

また、学生の就職・進路についても、例年通りの良好な就職・進路先が確定した。

社会に貢献する大学として、多摩市、稲城市、港区等との地域連携プログラムを引き続き推進した。拡大したキャンパスを生涯教育や地域社会への貢献の拠点として活用することについても検討した。

2008度は、教育環境の改善を図るため以下の設備等の設置更新を行った。

- ・ 新キャンパスの修繕（外壁塗装、教室の内装工事、トイレ改修、植栽等）
- ・ チャペルカリヨン設置（07年度からの継続工事）
- ・ ウェブホームルームシステムの拡大
- ・ 照明器具の取替

② 中学・高等学校

6年一貫教育の一層の充実をはかるため、「学習リズムを考えた年間予定計画」の策定、中学1・2年の自学自習の時間や定期テスト年間5回等の実施、等を行ない、生徒の学習意欲向上を目指している。さらに生徒の様々な可能性（創造性・想像力）を引き出し育てるための教育を目指して努力を行った。

創立の理念である園芸教育充実のため、恵泉フェロシップの補助を得て園芸技術員1名の採用をおこなった。

教育環境整備のため、フェロシップホールの音響設備を更新した。また、フェロシップホールと体育館の将来の建替えを目的とした2号基本金の積立を計画通り行なった。

③ 法人

創立80周年事業推進のため、以下の事業を対象として募金を開始し、08年度は45百万円の寄付があった。

（募金対象事業）

- ・ 多摩キャンパスの総合計画の推進
- ・ 園芸図書を含む「花と平和のミュージアム」の設置
- ・ 生涯教育の展開

また、一般職員の労働条件の安定をはかるとともに、学園の求める人材を育成するため、前年度から検討してきた人事給与制度の見直しを進めた。

「内部監査室」が本格的にスタートし、公認会計士・監事と意見交換を行ない、法令等の遵守、業務の有効性・効率性について監査を行なった。

法人部門で行なっている「恵泉銀座センター」は、生涯教育活動の一環として社会人向けに恵泉教育の特色を生かした講座を開講した。とくに、銀座の地を活かした「銀座学」は好評を得た。

(3) 施設設備の処分

伊勢原キャンパスは、2005年3月に園芸短期大学を廃止したことにより売却を進めてきたが、2008年7月にキャンパスの一部を東京農業大学に売却した。

3. 財務の概要

(1) 決算の概要

① 収支計算書の状況

園芸短大廃止により、現在使用していない伊勢原キャンパスの維持費・減価償却費やキャンパスの一部売却に伴う経費及びその他の特殊経費が約1.2億円あったが、伊勢原施設の売却益（資産売却差額－資産処分差額）1.3億円により、帰属収支は0.1億円の黒字を確保した。

資金収支計算書

2008年4月 1日から
2009年3月31日まで

(単位:円)

収入の部			
科目	予算	決算	差異
学生生徒納付金収入	2,839,039,000	2,794,952,440	44,086,560
手数料収入	54,471,000	55,757,710	-1,286,710
寄付金収入	102,530,000	85,189,037	17,340,963
補助金収入	673,869,918	673,869,218	700
国庫補助金収入	280,735,200	280,734,500	700
地方公共団体補助金収入	389,132,868	389,132,868	0
東京都既学期間補助金収入	4,001,850	4,001,850	0
資産運用収入	34,700,000	38,185,642	-3,485,642
資産売却収入	577,083,750	450,683,750	126,400,000
事業収入	104,520,000	110,213,186	-5,693,186
雑収入	77,532,021	80,325,931	-2,793,910
前受金収入	512,825,000	536,920,000	-24,095,000
その他の収入	1,005,191,388	1,029,450,508	-24,259,120
資金収入調整勘定	-596,523,501	-607,962,501	11,439,000
前年度繰越支払資金	889,632,587	889,632,587	0
収入の部合計	6,274,871,163	6,137,217,508	137,653,655

学園創立80周年記念事業募金を開始し、08年度は35百万円のご寄付をいただきました。

「特色ある大学教育支援プログラム」として「教養教育としての生活園芸」と「専門性をもった教養教育としての体験学習」が採択され、補助金を受けています。

伊勢原キャンパスの一部売却しました。

第3号基本基金特定資産を7億円取り崩しました。

支出の部			
科目	予算	決算	差異
人件費支出	2,454,049,000	2,406,508,522	47,540,478
教育研究経費支出	806,316,000	717,131,230	89,184,770
管理経費支出	351,131,293	346,795,548	4,335,745
借入金等利息支出	48,295,843	46,649,183	1,646,660
借入金等返済支出	1,666,644,000	1,666,644,000	0
施設関係支出	23,479,049	23,479,049	0
設備関係支出	71,108,000	61,266,325	9,841,675
資産運用支出	163,662,670	163,662,670	0
その他の支出	37,770,635	36,673,791	1,096,844
予備費	36,447,281	0	36,447,281
資金支出調整勘定	-83,165	-52,232,488	52,149,323
次年度繰越支払資金	616,050,557	720,639,678	-104,589,121
支出の部合計	6,274,871,163	6,137,217,508	137,653,655

大学新キャンパスの改修、大学の教室照明の更新、大学WEBホームルームサイトのバージョンアップ等を行いました。

大学新キャンパス購入資金のための短期借入金15億円と長期借入金を約定通り返済しました。

大学のチャペルカメラを07～08年度にかけて設置しました。

中高フェロシッポールの音響設備を更新しました。

資金収支計算書は、1年間の資金の流れを表しています。

収入の部・支出の部の「資金収入調整勘定」、「資金支出調整勘定」は、資金収支計算書において、資金の出入りを伴わない収入と支出を控除するものです。これにより、次年度繰越支払資金と貸借対照表の現金預金とが一致することとなります。

消費収支計算書

2008年4月 1日から
2009年3月31日まで

(単位:円)

消費収入の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒納付金	2,839,039,000	2,794,952,440	44,086,560
手数料	54,471,000	55,757,710	-1,286,710
寄付金	102,530,000	91,240,909	11,289,091
補助金	673,869,918	673,869,218	700
国庫補助金	280,735,200	280,734,500	700
地方公共団体補助金	389,132,868	389,132,868	0
東京都私学財団補助金	4,001,850	4,001,850	0
資産運用収入	34,700,000	38,185,642	-3,485,642
資産売却差額	180,889,749	179,879,054	1,010,695
事業収入	104,520,000	110,213,186	-5,693,186
雑収入	77,532,021	80,325,931	-2,793,910
帰属収入合計	4,067,551,688	4,024,424,090	43,127,598
基本金組入額合計	-1,751,500,000	-1,747,286,009	-4,213,991
消費収入の部合計	2,316,051,688	2,277,138,081	38,913,607

伊勢原キャンパス売却により、土地部分について売却益(売却額と帳簿価格との差額)がありました。

消費支出の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
人件費	2,426,374,125	2,414,727,225	11,646,900
教育研究経費	1,189,356,000	1,110,290,067	79,065,933
減価償却額	383,040,000	392,919,016	-9,879,016
管理経費	387,931,293	384,751,469	3,179,824
減価償却額	36,800,000	36,578,875	221,125
借入金等利息	48,295,843	46,649,183	1,646,660
資産処分差額	50,264,135	49,306,048	958,087
徴収不能額	3,514,000	3,514,000	0
徴収不能引当金繰入額	3,000,000	1,286,900	1,713,100
予備費	43,868,000	0	43,868,000
消費支出の部合計	4,152,603,396	4,010,524,892	142,078,504
当年度消費収支差額	-1,836,551,708	-1,733,386,811	-103,164,897
前年度繰越消費収支差額	-4,378,642,362	-4,378,642,362	0
基本金取崩額	695,000,000	695,000,000	0
翌年度繰越消費収支差額	-5,520,194,070	-5,417,029,173	-103,164,897
			0
帰属収支差額	-85,051,708	13,899,198	-98,950,906

伊勢原キャンパス売却により、建物部分については売却損(売却額と帳簿価格との差額)が生じましたが、土地の売却益と合算すると約1.3億円の売却益があったこととなります。

第3号基本金の河井奨学金基金を7億円取り崩しましたが、学園の奨学金事業には十分対応できる見込みです。

帰属収入から消費支出を差し引いた帰属収支差額は黒字を確保することができました。

消費収支計算書は、1年間の消費収入と消費支出の内容を表しています。
学校法人の負債とされない収入(帰属収入)および未払金等を加えた支出(消費支出)が明らかになります。
また、教育を永続的に行うために必要な金額を「基本金」として組入れます。

② 貸借対照表の状況

土地が0.5億円減少したが、これは伊勢原キャンパスの一部売却による。
また、建物は大学チャペルのカリヨン設置等による増加が0.2億円あったが、伊勢原キャンパスの一部売却による減少2.6億円と減価償却により5.6億円の減少となった。

3号基本金の河井奨学金基金のうち7億円を取り崩した。奨学金のための寄付金、その他の奨学基金等もあり、現状の奨学金事業には十分対応できる見込みであり基金を取り崩すこととしたもの。

多摩キャンパス教育施設充実と世田谷校舎施設充実のための2号基本金は、それぞれ計画通り0.6億円と0.4億円の積立を行なった。

借入金は、世田谷校舎建築資金借入金を1.7億円返済し、大学新キャンパス取得資金の借入金1.5億円の返済をおこなった。この結果、借入金合計は21.4億円となる。

貸借対照表

2009年3月31日

(単位:円)

資産の部			
科目	本年度末	前年度末	増減
固定資産	16,830,590,225	18,239,676,878	-1,409,086,653
有形固定資産	15,245,858,899	15,903,300,109	-657,441,210
土地	7,612,586,090	7,665,461,785	-52,875,695
建物・構築物	6,403,614,091	6,979,645,957	-576,031,866
教育研究機器備品	265,920,071	302,307,225	-36,387,154
図書	944,752,580	922,841,306	21,911,274
その他	18,986,067	33,043,836	-14,057,769
その他の固定資産	1,584,731,326	2,336,376,769	-751,645,443
有価証券	56,304,000	56,904,000	-600,000
特定資産	1,318,525,643	2,045,138,936	-726,613,293
その他	209,901,683	234,333,833	-24,432,150
流動資産	872,784,995	1,078,711,250	-205,926,255
現金預金	720,639,678	889,632,587	-168,992,909
有価証券	70,754,250	70,390,963	363,287
その他	81,391,067	118,687,700	-37,296,633
資産の部合計	17,703,375,220	19,318,388,128	-1,615,012,908

伊勢原キャンパスの土地の一部を売却しました。

伊勢原キャンパスの一部売却による減少約26億円で減価償却により大きく減少しました。

第3号基本金の河井奨学金基金を7億円取崩しました。
多摩キャンパス施設充実と世田谷キャンパス施設充実のための第2号基本金は、それぞれ60百万円と40百万円を計画通り積立てました。

負債の部			
科目	本年度末	前年度末	増減
固定負債	2,414,958,069	2,562,335,728	-147,377,659
長期借入金	1,971,965,000	2,138,609,000	-166,644,000
退職給与引当金	431,945,431	423,726,728	8,218,703
長期未払金	11,047,638	0	11,047,638
流動負債	826,326,523	2,307,860,970	-1,481,534,447
短期借入金	0	1,500,000,000	-1,500,000,000
一年以内返済長期借入金	166,644,000	166,644,000	0
前受金	536,920,000	527,175,000	9,745,000
その他	122,762,523	114,041,970	8,720,553
負債の部合計	3,241,284,592	4,870,196,698	-1,628,912,106
1号基本金	18,582,119,801	16,934,833,792	1,647,286,009
2号基本金	677,000,000	577,000,000	100,000,000
3号基本金	365,000,000	1,060,000,000	-695,000,000
4号基本金	255,000,000	255,000,000	0
基本金の部合計	19,879,119,801	18,826,833,792	1,052,286,009
消費収支差額の部	-5,417,029,173	-4,378,642,362	-1,038,386,811
負債の部、基本金の部 および消費収支差額の部	17,703,375,220	19,318,388,128	-1,615,012,908

中高校舎建築資金として、以下の借入を行います(含む1年以内返済分)
日本私立学校展興・共済事業団 1,499,710千円
東京都私立学財団 638,899千円

大学新キャンパス(都立南郷高校跡地)購入資金の一部として借入けた15億円を返済しました。

多摩教育施設充実のための基本金残高は480百万円、世田谷キャンパス施設充実のための基本金残高は197百万円です。

園芸教育基金は265百万円、河井奨学金基金は100百万円とがなっています。

(注記)

減価償却額の累計額の合計額 5,779,594,447 円
徴収不能引当金の合計額 9,016,400 円

(2) 経年比較

① 収支計算書

(イ) 資金収支の推移

(単位:千円)

科目 \ 年度	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度
学生生徒納付金収入	2,651,035	2,670,839	2,685,445	2,877,449	2,794,952
手数料収入	71,499	59,152	71,022	49,937	55,758
寄付金収入	83,324	118,736	48,985	48,778	85,189
補助金収入	610,387	646,919	680,889	669,145	673,869
資産運用収入	31,223	31,159	33,848	36,224	38,186
資産売却収入	170,000	600,130	389,987	1,141,445	450,684
事業収入	404,245	93,782	98,490	119,586	110,213
雑収入	98,668	84,726	207,989	106,848	80,326
借入金収入	0	0	0	1,500,000	0
前受金収入	537,000	534,505	648,505	527,175	536,920
その他の収入	202,296	197,009	169,967	1,460,427	1,029,451
資金収入調整勘定	-583,264	-625,177	-747,113	-766,210	-607,963
前年度繰越支払資金	995,983	995,917	1,028,921	1,012,687	889,633
収入合計	5,272,396	5,407,697	5,316,935	8,783,491	6,137,218
人件費支出	2,398,935	2,459,624	2,613,807	2,401,107	2,406,509
教育研究経費支出	638,579	606,682	625,731	669,913	717,131
管理経費支出	347,963	311,240	316,817	326,973	346,796
借入金等利息支出	45,256	41,913	39,356	50,979	46,649
借入金等返済支出	142,494	166,924	166,644	166,644	1,666,644
施設関係支出	39,003	7,566	20,615	2,905,710	23,479
設備関係支出	53,941	55,550	42,226	46,044	61,266
資産運用支出	548,028	707,621	474,895	1,294,632	163,663
その他の支出	94,894	50,684	43,850	66,376	36,674
資金支出調整勘定	-32,614	-29,028	-39,693	-34,520	-52,233
次年度繰越支払資金	995,917	1,028,921	1,012,687	889,633	720,640
支出合計	5,272,396	5,407,697	5,316,935	8,783,491	6,137,218

(ロ) 消費収支の推移

(単位:千円)

科目 \ 年度	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度
学生生徒等納付金	2,651,035	2,670,839	2,685,445	2,877,449	2,794,952
手数料	71,500	59,152	71,022	49,937	55,758
寄付金	87,645	122,943	63,894	61,124	91,241
補助金	610,387	646,919	680,889	669,145	673,869
資産運用収入	31,223	31,159	33,848	36,224	38,186
資産売却差額	0	78	100	0	179,879
事業収入	404,245	93,782	98,490	119,586	110,213
雑収入	99,495	90,452	216,304	110,462	80,326
帰属収入合計	3,955,530	3,715,324	3,849,992	3,923,927	4,024,424
基本金組入額合計	-91,290	-310,000	-240,678	-1,842,694	-1,747,286
消費収入の部合計	3,864,240	3,405,324	3,609,314	2,081,233	2,277,138
人件費	2,396,566	2,441,074	2,579,805	2,377,509	2,414,727
教育研究経費	1,103,750	1,057,120	1,057,982	1,098,620	1,110,290
管理経費	387,471	348,210	353,362	375,382	384,752
借入金等利息	45,256	41,913	39,356	50,979	46,649
資産処分差額	9,936	8,346	21,879	1,021	49,306
徴収不能額	496	4,975	0	5,999	3,514
徴収不能引当金組入額	8,758	510	2,899	3,916	1,287
消費支出の部合計	3,952,233	3,902,148	4,055,283	3,913,426	4,010,525
当年度消費収支差額	-87,993	-496,824	-445,969	-1,832,193	-1,733,387
前年度繰越消費収支差額	-2,937,113	-3,025,106	-2,100,480	-2,546,449	-4,378,642
基本金取崩額	0	1,421,450	0	0	695,000
翌年度繰越消費収支差額	-3,025,106	-2,100,480	-2,546,449	-4,378,642	-5,417,029

② 貸借対照表

貸借対照表の推移

(単位:千円)

	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度
固定資産	17,606,108	17,220,266	16,838,238	18,239,677	16,830,590
流動資産	1,180,414	1,198,441	1,316,335	1,078,711	872,785
資産の部合計	18,786,522	18,418,707	18,154,573	19,318,388	17,703,375
固定負債	3,138,417	2,953,224	2,752,577	2,562,335	2,414,958
流動負債	817,300	822,502	964,305	2,307,861	826,326
負債の部合計	3,955,717	3,775,726	3,716,882	4,870,196	3,241,284
基本金の部合計	17,854,911	16,743,461	16,984,140	18,826,834	19,879,120
消費収支差額の部合計	-3,025,106	-2,100,480	-2,546,449	-4,378,642	-5,417,029
負債信、基本金の部及び消費収支差額の部合計	18,785,522	18,418,707	18,154,573	19,318,388	17,703,375

(3) 収益事業の状況

花卉販売等をおこなっており、その状況は次の通りである。

収益事業(恵泉園芸センター)の決算

2008年度(2008年4月1日～2009年3月31日)

損益計算書

(単位:円)

項目	金額
売上高	169,303,486
売上原価	47,609,085
販売費及び一般管理費	144,755,686
営業外損益	2,448,246
特別損益	-1,268,120
当期利益	-21,881,159

貸借対照表

(単位:円)

項目	金額
流動資産	87,570,579
固定資産	205,378,066
資産合計	292,948,645
流動負債	18,665,372
固定負債	0
負債合計	18,665,372
純資産合計	274,283,273
負債・純資産合計	292,948,645

4. 財産目録（概要）

財産目録

科目	2008年度末	
一 資産額		
(一) 基本財産		16,290,469,696 円
1 土地		7,612,586,090 円
世田谷校地	17,329 m ²	643,580,411 円
伊勢原校地	33,960 m ²	128,046,277 円
多摩校地	72,072 m ²	5,800,649,210 円
町田校地	17,460 m ²	1,005,021,106 円
その他	12,864 m ²	35,289,086 円
2 建物		6,200,331,133 円
(1) 世田谷校舎他	21,793 m ²	3,139,787,033 円
(2) 多摩校舎他	33,397 m ²	2,480,399,834 円
(3) 伊勢原校舎他	9,353 m ²	580,144,236 円
(4) 御殿場山の家他	819 m ²	30 円
3 図書		944,752,580 円
4 教具・工具・備品		284,437,688 円
5 その他		1,248,362,205 円
(二) 運用財産		1,332,905,524 円
1 預金、現金		720,639,678 円
2 積立金		276,525,643 円
3 その他		335,740,203 円
(三) 収益事業用財産		292,948,645 円
1 土地	10,703 m ²	123,800,000 円
2 建物	412 m ²	5,560,167 円
3 構築物		1,561,377 円
4 その他		162,027,101 円
資産合計		17,916,323,865 円
二 負債額		
1 固定負債		2,414,958,069 円
(1) 長期借入金		1,971,965,000 円
日本私立学校振興・共済事業団		1,388,620,000 円
東京都私学財団		583,345,000 円
(2) 退職給与引当金		431,945,431 円
(3) 長期未払金		11,047,638 円
2 流動負債		826,326,523 円
(1) 短期借入金		166,644,000 円
(2) 前受金		536,920,000 円
(3) 未払金		41,101,685 円
(4) その他		81,660,838 円
3 収益事業負債		18,665,372 円
負債合計		3,259,949,964 円
三 純財産		14,656,373,901 円

5. 監事による監査報告書
別添のとおり。

監査報告書

2009年5月18日

学校法人 恵泉女学園
理事会 御中

学校法人 恵泉女学園

監事 松 浦 基 之 (印)

監事 高 島 正 隆 (印)

私たち学校法人恵泉女学園の監事は、私立学校法第37条第3項の規定に基づき2008(平成20)年度の学校法人恵泉女学園の業務及び財産の状況について監査を実施いたしました。

監査の方法は、理事会その他重要な会議に出席するほか理事から事業の報告を聴取し、また重要資料を閲覧して業務の執行状況を監査し、また会計監査人と連携を取り財産の状況を監査いたしました。

監査の結果、理事の業務の執行に関しては法令及び寄付行為に違反する重大な事実はなく、財産の状況は適正なものと認められます。

以上

監 査 報 告 書

2009年5月18日

学校法人 恵泉女学園
評議員会 御中

学校法人 恵泉女学園

監事 松 浦 基 之 (印)

監事 高 島 正 雄 (印)

私たち学校法人恵泉女学園の監事は、私立学校法第 37 条第 3 項の規定に基づき 2008 (平成 20) 年度の学校法人恵泉女学園の業務及び財産の状況について監査を実施いたしました。

監査の方法は、理事会その他重要な会議に出席するほか理事から事業の報告を聴取し、また重要資料を閲覧して業務の執行状況を監査し、また会計監査人と連携を取り財産の状況を監査いたしました。

監査の結果、理事の業務の執行に関しては法令及び寄付行為に違反する重大な事実はなく、財産の状況は適正なものと認められます。

以 上

■ 2009年度事業計画

I. 基本方針

2009年度は学園創立80周年を迎える記念すべき年度である。創立80周年を1つの節目として建学の理念を継承しつつ、新しい時代を展望した学園ヴィジョンを定め、その具体化を図る。また、教育事業を支えるために財政の健全化の努力を続けていく。

II. 重点事業

1. 大学の事業計画

(1) 基本方針

- ① 建学の理念を継承し、新時代を切り開く女性の育成を目的とした「平和を目指す女性の大学」を教育目標とする。
- ② 世界的な金融危機に端を発する現在の経済状況に対応するために必要な諸策と可能な限りの学生支援をはかる。特に入学生の確保と学費免除等の学生支援の強化に重点を置く。
- ③ FD活動による教育・研究活動の点検などにより、カリキュラムなどの見直しを行ない、魅力ある大学づくりを推進する。
- ④ 入学前教育プログラム及びキャリア教育を拡充する。
- ⑤ 大学院研究科の改組により、わが国最初となる「平和学研究科」のスタートに合わせて、大学院の一層の充実をはかる。また各研究所の研究も充実させる。

(2) 主な事業

- ① 学生支援の充実を図る。
世界的な経済不況の影響により就学が困難となった学生に対して奨学金事業等の拡大を図り、家計困難者や留学生に対する支援を充実する。
また、キャリア教育、就職・進路支援プログラムをより一層強化する。
- ② 多摩キャンパス全体の「ランドデザイン」を策定する。
多摩キャンパスの教学と施設に関する総合的な中長期計画を策定する。
具体的には、キャンパス全体における諸施設の有効的な活用方針の検討を行なう。
新キャンパスは、中長期計画が確定するまでは必要最小限の範囲で改築等を行ない活用を図る。
- ③ 「花と平和のミュージアム」構想の具体的な推進
園芸に関する図書を含む「花と平和のミュージアム」構想を具体的に推進し、併せて生涯教育のより一層の展開のために大学および学園の教職員や役員・関係者、並びに学外の有識者などとの懇談会等を実施する。
- ④ 広報活動の充実
学園創立80周年を迎える年度であり、学内外に広く本学の教育方針と成果を伝えるため、広報活動の充実に努める。
- ⑤ 自己点検・自己評価を実施し、2010年度に第三者評価を受ける。
これまで実施してきた自己点検・自己評価を2009年度も実施、2010年度に大学基準協会から認証評価（第三者評価）を受ける。これらの活動によって今後の大学の進路や何をなすべきか等教育研究活動等の質の向上を目指す。

⑥ 教育の一層の充実を図る。

ファカルティ・ディベロップメント（FD）の取り組みを一層強化し、大学の最も重要な役割の一つである「教育」の質の改善を図っていく。

現在実施中の「特色ある大学教育支援プログラム（特色GP・教養教育としての生活園芸）」の充実、推進を図るとともに、更に特色ある恵泉教育を推進する。

⑦ 研究態勢の充実を図る。

研究態勢を充実するため、科学研究費の申請等競争的補助金の獲得に努める。

⑧ 地域貢献活動の一層の充実を図る。

今年度は、東京都環境局、多摩市との間で「大学グリーンキャンパス」協定を結ぶ。

また、履修証明制度による「児童英語活動指導者養成講座」を開講し、社会人や現職教員を受け入れるとともに、「KEISEN地域における言語活動教育研究会」を設置し、稲城市・多摩市と共同で学生・市民による言語教育活動を展開する。

⑨ 施設・設備を整備し、教育環境の充実を図る。

<主な計画>

- ・ 情報システムの更新
最新の教育環境に更新する。
- ・ CALLシステムの更新
LLシステムをCALLシステムに切り替え、語学教育の充実を図る。また、教員の教材作成環境を整え、ICTを活用した教育の推進を図る。
- ・ 図書館システムのリプレイス
図書のデータ量が増え、サーバーの能力が限界に近づいており、サーバーの更新とシステムのリプレイスを行なう。
- ・ 障がい者サポートシステムの拡充
- ・ 園芸実習農地の拡大
園芸教育充実のため、近隣の農地を購入する。

2. 中学・高校の事業計画

- ① 6年間一貫教育の現状を確認し、さらなる質の向上を目指す。
- ② 財政の収支バランスを保ちつつ、教育環境を一層充実させる。
- ③ 創立80周年記念事業（芸術鑑賞・国際交流等）を主体的に実施する。
- ④ 施設・設備の充実を図る。

<主な計画>

- ・ LL教室設備更新
LL設備を更新し、英語教育の充実を図る。
- ・ フェロシップホールの修繕
客席床、通路、控室、廊下のPタイルの貼り替え、保守点検用メイン通路整備を行なう。

3. 収益事業部の事業計画

「園芸センター」は、学園財政を支えるという本来の役割を果たすために、収支改善の努力を行なう。

4. 財務基盤の強化

- ① 少子化が進み学園を取り巻く状況は厳しさを増しているが、学生・生徒の確保に全学を上げて取り組む。
また、支出構造の全面的見直しを進め、経費の圧縮に努め、収支の均衡を図る。
- ② 遊休不動産の売却を進め、新たな事業展開のための資金と流動資金を確保する。
- ③ 将来の多摩キャンパス施設充実と世田谷キャンパス施設充実のための2号基本金は、計画通り積立てる。

5. 学園創立80周年記念募金

学園創立80周年記念事業推進のための募金目標達成を目指す。

- ・ 事業費総額 7億円
- ・ 募金目標 2億円
- ・ 募金対象事業
 - ① 多摩キャンパスの総合計画の推進
 - ② 園芸図書を含む「花と平和のミュージアム」の設置
 - ③ 生涯教育の展開

6. 管理体制の整備

監査法人、監事、内部監査室は、相互に連携し、財務、資産の保全、法令等の遵守、業務の有効性および効率性等について意見の交換を行ない、管理の実施状況と体制のチェックを行なう。

また、諸規程を整備し、コンプライアンスの徹底を図る。

7. 一般職員の人事・給与制度の見直し

一般職員の人事・給与制度の見直し・実施により、教育事業を支える職員の労働条件の安定と学園の求める人材の育成をおこなう。

■ 2009年度予算

1 予算の概要

2009年度事業計画に示された計画を具体化するための予算を策定した。ただし、これらの事業を支えるためにも収支改善が課題となる予算となった。

① 帰属収支は2.3億円（除く予備費）の赤字となる。

実際の予算執行にあたっては経費節減により、売却予定の伊勢原キャンパスの維持費を除いた実質収支での黒字化を目指す。

② 中高の収支は均衡してきたが、大学は改善すべき課題があり努力を行なう。

③ 遊休資産の売却11億円を予定し、将来計画のための資金を手当てする。

2 資金収支予算書

資金収支予算書

2009年4月1日から
2010年3月31日まで

(収入の部)		(単位:円)		
科目	2009年度 予算	2008年度 予算	増減	
学生生徒納付金収入	2,775,741,000	2,839,039,000	-63,298,000	中学・大学とも入学者は予定通り確保しました。
手数料収入	54,800,000	54,471,000	329,000	
寄付金収入	106,530,000	102,530,000	4,000,000	学園創立80周年募金をおこなっています。
補助金収入	661,458,500	673,869,918	-12,411,418	
資産運用収入	21,110,000	34,700,000	-13,590,000	不動産売却収入11億円を見込んでいます。
資産売却収入	1,400,000,000	577,083,750	822,916,250	
事業収入	101,090,000	104,520,000	-3,430,000	
雑収入	40,865,700	77,532,021	-36,666,321	
前受金収入	518,470,000	512,825,000	5,645,000	
その他の収入	111,226,501	1,005,191,388	-893,964,887	
資金収入調整勘定	-550,810,700	-596,523,501	45,712,801	
前年度繰越支払資金	616,050,557	889,632,587	-273,582,030	
収入の部合計	5,856,531,558	6,274,871,163	-418,339,605	

(支出の部)		(単位:円)		
科目	2009年度 予算	2008年度 予算	増減	
人件費支出	2,400,591,000	2,454,049,000	-53,458,000	08年度は大学の新キャンパス改修費用等がありました。
教育研究経費支出	770,212,000	806,316,000	-36,104,000	
管理経費支出	366,777,000	351,131,293	15,645,707	長期借入金の約定通りの返済を行ないません。08年度は大学新キャンパス取得のための短期借入金15億円を返済しました。
借入金等利息支出	31,690,009	48,295,843	-16,605,834	
借入金等返済支出	166,644,000	1,666,644,000	-1,500,000,000	大学の図書システムの更新、情報システムの更新、CALLシステムの更新等を行ないません。中高は、フェロシップホールの修繕、LL設備を更新します。
施設関係支出	22,280,000	18,839,000	3,441,000	
設備関係支出	206,386,000	71,108,000	135,278,000	
資産運用支出	522,585,000	159,750,000	362,835,000	
その他の支出	9,260,000	37,770,635	-28,510,635	
予備費	90,000,000	45,000,000	45,000,000	
資金支出調整勘定	-117,560,000	-83,165	-117,476,835	
次年度繰越支払資金	1,387,666,549	616,050,557	771,615,992	
支出の部合計	5,856,531,558	6,274,871,163	-418,339,605	

3 消費収支予算書

消費収支予算書

2009年4月1日から
2010年3月31日まで

(消費収入の部)

(単位:円)

科 目	2009年度 予算	2008年度 予算	増減
学生生徒納付金	2,775,741,000	2,839,039,000	-63,298,000
手数料	54,800,000	54,471,000	329,000
寄付金	106,530,000	102,530,000	4,000,000
補助金	661,458,500	673,869,918	-12,411,418
資産運用収入	21,110,000	34,700,000	-13,590,000
資産売却差額	0	180,889,749	-180,889,749
事業収入	101,090,000	104,520,000	-3,430,000
雑収入	40,865,700	77,532,021	-36,666,321
帰属収入合計	3,761,595,200	4,067,551,688	-305,956,488
基本金組入額合計	-375,000,000	-1,751,500,000	1,376,500,000
消費収入の部合計	3,386,595,200	2,316,051,688	1,070,543,512

不動産を売却の予定であり差額が出ますが、予算には織込みませんでした。
なお、08年度の不動産売却では1.8億円の売却益がありました。

08年度は、短期借入金15億円返済にともなう組入額が15億円ありました。

(消費支出の部)

(単位:円)

科 目	2009年度 予算	2008年度 予算	増減
人件費	2,410,586,000	2,426,374,125	-15,788,125
教育研究経費	1,143,412,000	1,189,356,000	-45,944,000
減価償却費	373,200,000	383,040,000	-9,840,000
管理経費	403,177,000	387,931,293	15,245,707
減価償却費	36,400,000	36,800,000	-400,000
借入金等利息	31,690,009	48,295,843	-16,605,834
資産処分差額	1,310,000	50,264,135	-48,954,135
徴収不能額	0	2,382,000	-2,382,000
徴収不能引当金繰入額	3,000,000	3,000,000	0
予備費	45,000,000	45,000,000	0
消費支出の部合計	4,038,175,009	4,152,603,396	-114,428,387
当年度消費収支差額	-651,579,809	-1,836,551,708	1,184,971,899
前年度繰越消費収支差額	-5,520,194,070	-4,378,642,362	-1,141,551,708
基本金取崩額	0	695,000,000	-695,000,000
翌年度繰越消費収支差額	-6,171,773,879	-5,520,194,070	-651,579,809
帰属収支差額	-276,579,809	-85,051,708	-191,528,101

教育研究経費と管理経費の節減により帰属収支の黒字化を目指します。

<参考>

2009年度の学生・生徒数

(2009年5月1日現在)

(単位:人)

学 校 名	入学定員数	収容定員数	現員数	
恵泉女学園大学	大学院	12名	24名	31名
	人文学部	205名	860名※	941名
	人間社会学部	205名	860名※	922名
恵泉女学園高等学校	180名	540名	559名	
恵泉女学園中学校	180名	540名	591名	

※ 3年次編入定員各40名を含む